



課題について / 本選実機練習

課題	1	2	3	4	5
フォルダ名/directory 名	2020-ho-pr-t1	2020-ho-pr-t2	2020-ho-pr-t3	2020-ho-pr-t4	2020-ho-pr-t5
実行時間制限	1 秒	1 秒	1 秒	1 秒	1 秒
メモリ制限	256MB	256MB	256MB	256MB	256MB
コンパイラ	C (gcc)	-DEVAL -std=gnu11 -O2 -pipe -static -s -lm			
オプション	C++ (g++)	-DEVAL -std=gnu++14 -O2 -pipe -static -s			
配点	100 点	100 点	100 点	100 点	100 点

注 1) C 言語の拡張子は “c”, C++ の拡張子は “cpp” とする。ファイル名の例 : 2020-ho-pr-t1.cpp

注 2) 全ての課題でセットごとに採点を行う。各セットは 1 個もしくは複数のデータで構成されており、セット中の全てのデータに正解した場合にのみ配点分の得点が与えられる。

注 3) 各課題がいくつかの小課題に分割されることがある。小課題に関する詳細は問題文中に記載する。

採点用入力データの形式

- 標準入力から採点用入力データを読み込むこと。採点用入力データの各行は、1 つまたは複数の項目を含む。項目は整数または文字列である。
- 複数の項目を含む行では、項目は 1 つの「空白」で区切られている。各行において、1 つ目の項目の前や、最後の項目の後に「空白」はない。(ここで、「空白」とは半角空白のことであり、全角空白やタブは「空白」ではない。)

出力データの形式

- 出力データを標準出力に出力すること。出力データは、問題文の指示にない文字・記号・制御コードを含まないこと。出力データの行数は、問題中の「出力」の項に指定された行数であること。出力データの行数が問題中に指定された行数と異なる場合は、不正解となることがある。
- 出力データの各行は、1 つまたは複数の項目を含むこと。項目は整数または文字列である。出力データの各行に含まれる項目数は、問題中の「出力」の項に指定されたその行の項目数と一致すること。複数の項目を含む行では、項目を 1 つの「空白」で区切る。また、1 つ目の項目の前や最後の項目の後に「空白」を挿入しないこと。これらに反する出力データは不正解となることがある。
- 項目が整数の場合、正整数は数字 (0 から 9 まで) を用い十進法で表すこと。先頭が 0 であってはならないし、符号や小数点をつけてはならない (良い例 : 123, 悪い例 : +123 123.0 0123)。零は 0 で表すこと (悪い例 : +0 -0 0.0 00)。負整数は、負号 (-) の後に 1 個以上の数字を並べ十進法で表すこと。符号の直後の数字は 0 であってはならない (良い例 : -123, 悪い例 : -123.0 -0123)。
- 項目が文字列の場合、1 個以上の文字の並びとして出力すること。